

# 図書案内

2024年 10月号

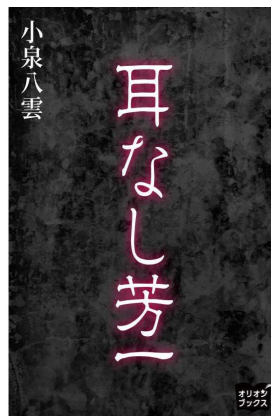
## おばけ・妖怪

トリック・オア・トリート！

10月の大イベントといえば、、、ハロウィン！！

ハロウィンの始まりは紀元前に遡ります。ケルト民族が秋の収穫物を集めた盛大なお祭りが今のハロウィンの元とされています。またこの祭りでは死後の世界との扉が開き、先祖の霊たちが帰ってくると信じられていました。もしかしたらハロウィンパーティーの中にあなたの先祖がいるかも、、、。少し暑さの残る10月です。図書室にある少し背筋が凍るような本でも読んで、暑さを吹き飛ばしましょう！

### 『耳なし芳一』／小泉八雲



皆さんは昔からある怪談を読んだことがあるだろうか？「耳なし芳一」は映画化もされた有名な日本の怪談話だ。盲人の僧、芳一は侍に頼まれ、琵琶を演奏した。しかし、彼を不思議に思って、後をつけた和尚さんが見た光景は、全く異なるものだった。和尚さんは彼にお祓いを施すが、あることを忘れていた。文章量も少なく、本をあまり読まない人も読みやすいだろう。読めば、人知を超えた存在に気が付くだろう。日本の怪談ばなしの代表作。

「お、お前、その耳は・・・チョントゥー」



### 『夏と花火と私の死体』／乙一

九歳の少女「五月(さつき)」は、同じ年の友達「弥生」と、その兄「健」によって殺されました。その死体を「弥生」と「健」が隠し通そうとする物語です。物語が、すでに死体である「五月」視点で進んでいくところが特徴的です。その状態でも無邪気に語っていく「五月」のモノローグが、不似合いでぞっとします。

「最後に、踏み台にしていた大きな石の上に背中から落ちて、私は死んだ。」



### 『死者は嘘をつかない』／スティーヴン・キング



ホラーの巨匠、スティーヴン・キングの長編が邦訳されたものだ。主人公ジェイミーは死者の姿が見え、言葉を交わすことができる少年。怖いことに遭うことも多いが、その特殊な力が役立つことも多く、まんざらでもない。ところが、ある事件の捜査に協力したことから、彼の運命は大きく変わり始める。「死者は嘘をつかない」という独自のルールを盛り込むことで、物語に絶妙なサスペンスを生み出している。

「これはホラーストーリーだ」



### 『ダレン・シャン』／ダレン・シャン



好奇心旺盛で、蜘蛛が好きなこと以外はごく普通の少年ダレン・シャン。ある日、友人に誘われて奇怪なサーカス、シルク・ド・フリークを見に行くことに。そこで、団員であるクレスプリーの操る毒蜘蛛マダム・オクタに魅了され、その毒蜘蛛を盗みだしてしまふ。しかし、友人がその蜘蛛にかまれ意識不明になってしまい、ダレン・シャンは友人を救うためクレスプリーと取引をすることに。ミステリアスでダークな雰囲気思わず引き込まれてしまう王道ダークファンタジー。

「死してなお、勝利の栄冠に輝かんことを！」

## 日本三大妖怪

皆さんは「妖怪」について何を知っていますか？妖怪とは、人知を超えた怪奇現象を起こす不思議な力を持ち、非日常的な事象をモチーフとした化物のことです。古来より、「妖（あやかし）」や「物の怪（もののけ）」と呼ばれ、災禍が起きるたびに皆から恐れられていたとされています。そこで、今回は日本を代表する、日本三大妖怪を紹介します。ずばり、三大妖怪は、「鬼」「河童」「天狗」の3種族とされています。（ここに狐と狸を加えた五大妖怪説もあります。）1つ目の「鬼」は、角や牙を持つ人間の姿をした妖怪であり、始まりは古事記の黄泉醜女（よもつしこめ）とされています。2つ目の「河童」は水辺に棲むとされる妖怪で、水神または水神の一族の従者、あるいはその零落したものを考えられています。3つ目の「天狗」は、古代、中国の古書「山海経」や「地蔵経」の夜叉天狗（やしやてんぐ）などの伝説が、日本の信仰と習合して生まれたとされています。古くから言い伝えられてきた、妖怪。時代や思想の流れと共に姿、形を変化させてきました。日本三大妖怪の他にもまだまだたくさんの妖怪たちがいます。ぜひ気になった人は調べてみてください。

出典：<https://intojapanwaraku.com/rock/art-rock/1502/>